

届出書は2部（正・副）

第14号様式（第8条第1項）

少量危険物 貯蔵
~~指定可燃物~~ 取扱い ~~（廃止）~~ 届出書

〇〇年〇〇月〇〇日				
柏市消防長 宛て		届出者 住所 柏市柏〇丁目〇番〇号 (電話〇〇〇〇-〇〇〇〇) 氏名 消 防 太 郎		
貯蔵又は取扱い の場所	地名地番	柏市柏〇丁目〇番〇号		電話 〇〇〇〇-〇〇〇〇
	名称	柏〇〇ビル		
類, 品名及び 最大数量	類	品 名	最大貯蔵数量	1日最大取扱数量
	①	②	③	④
貯蔵又は取扱い 方法の概要	⑤			
貯蔵又は取扱い 場所の位置構造 及び設備の概要	⑥			
消防用設備等又は特殊 消防用設備等の概要	⑦			
貯蔵又は取扱い の開始予定期日 又は期間	⑧			
検査予定年月日	⑨			
その他必要な 事項	⑩			
※ 受 付 欄			※ 経 過 欄	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p style="margin: 0;">下記の備考4の他に添付を要する書類 ①届出危険物の一覧表 ②タンクの場合、配管系統図及び検査済証の写し ③標識・掲示板の設置位置及び仕様書 ④消火器設置位置及び仕様書</p> </div>				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。
- 2 法人にあっては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 3 ※印の欄は、記入しないこと。
- 4 貯蔵し、又は取り扱おうとする場所の見取図及び配置図並びに構造及び設備に関する書類を添付すること。

- ① 少量危険物の場合は、消防法別表第1に定められている類を記入してください。
指定可燃物の場合は、斜線を引いてください。
 - ② 少量危険物の場合は、消防法別表第1に定められている品名を記入してください。
指定可燃物の場合は、柏市火災予防条例別表第8に定められている品名を記入してください。
 - ③ 最大貯蔵数量を記入してください。
例) タンク容量等
 - ④ 1日の最大取扱量を記入してください。
例) 非常時に24時間稼働させるための発電機 → 1時間あたりの使用量×24
- ※④又は⑤で指定数量以上の量になる場合は、危険物施設として設置をするうえで消防から許可を得る必要があります。
- ⑤ 貯蔵方法及び取扱い方法を記入してください。
例) 屋外タンクを設置し、1階ボイラー室のボイラーバーナーに使用する。
 - ⑥ 位置・構造・設備について簡潔に説明を記入するか、「別紙のとおり」とし備考4に記載してある図面等でそれらが確認できるよう添付してください。
例) 屋外タンクを敷地内東側に設置し、タンクは円筒型で板厚は2.3mm以上の鋼板を使用。外面は錆止めの措置を講じる。漏れ防止に必要な設備を搭載し、タンク容量以上の防油堤を設置する。
 - ⑦ 少量危険物または指定可燃物を貯蔵、取扱いするにあたり、設置が必要となる消防用設備等の種類及び本数を記入してください。
例) 粉末ABC10型消火器1本
 - ⑧ 貯蔵または取扱いの開始予定日を記入してください。
期間が決まっている場合は、その期間を記入してください。
 - ⑨ 検査を希望する年月日を記入してください。
未定の場合は、届出した後に電話等で日時を消防まで連絡してください。
 - ⑩ 設計者、施工者等の所在・名称・電話番号のほか、特異な事項等があれば記入してください。